

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(市町総括表)
【単独事業】

市町名	大田原市
-----	------

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	屋台まつり事業	総事業費		5,404,550	7,160,000	7,240,000	7,240,000	27,044,550
		うち市町支出額		500,000	3,500,000	3,500,000	3,500,000	11,000,000
		うち県交付金		250,000	1,375,000	1,375,000	0	3,000,000
2	地域資源を活かし、関係人口の創出をはかる金丸地域の活性化事業	総事業費	1,350,913	1,159,736	1,400,000	938,000	938,000	5,786,649
		うち市町支出額	843,000	859,000	1,000,000	0	0	2,702,000
		うち県交付金	421,500	429,500	500,000	0	0	1,351,000
3	夢のある里づくり事業	総事業費	1,248,538	1,149,573	1,151,001	823,200	823,200	5,195,512
		うち市町支出額	882,000	850,000	850,000	0	0	2,582,000
		うち県交付金	441,000	425,000	425,000	0	0	1,291,000
4	地域の歴史的伝統の菊文化の復活と普及活動を通じた関係人口の創出による金丸・大田原の活性化事業	総事業費	1,498,008	1,458,379	1,400,000	945,000	945,000	6,246,387
		うち市町支出額	797,000	868,000	1,000,000	0	0	2,665,000
		うち県交付金	398,500	434,000	500,000	0	0	1,332,500
5	雲巖寺周辺地域活性化事業	総事業費	1,111,000	1,897,871	1,307,000	721,700	721,700	5,759,271
		うち市町支出額	750,000	980,000	0	0	0	1,730,000
		うち県交付金	375,000	490,000	0	0	0	865,000
6	歴史的文化資産の活用による那須地域の活性化事業	総事業費	609,004	1,526,910	1,680,000	1,151,500	1,151,500	6,118,914
		うち市町支出額	346,000	962,000	1,000,000	0	0	2,308,000
		うち県交付金	173,000	481,000	500,000	0	0	1,154,000
7	おおたわら丘ポタ&激ポタ	総事業費	2,653,501	2,794,000	3,700,000	2,590,000	2,590,000	14,327,501
		うち市町支出額	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	0	3,000,000
		うち県交付金	500,000	500,000	500,000	0	0	1,500,000
8	地元再発見!生まれる絆☆人がつながるコーヒーMAP~大田原ファン&サポーター大募集~事業	総事業費	927,071	1,305,751	1,417,665	746,200	746,200	5,142,887
		うち市町支出額	695,000	975,000	975,000	0	0	2,645,000
		うち県交付金	347,500	487,500	487,500	0	0	1,322,500
9	那須野が原星空ネットワーク構築事業	総事業費		801,702	650,000	800,000	560,000	2,811,702
		うち市町支出額		596,000	487,000	600,000	0	1,683,000
		うち県交付金		298,000	243,500	300,000	0	841,500
10	黒羽の歴史・文化・芸術を広く啓発し、多くの交流を作る城下町黒羽活性化事業	総事業費			1,212,190	1,212,190	1,212,190	3,636,570
		うち市町支出額			909,000	909,000	909,000	2,727,000
		うち県交付金			454,500	454,500	454,500	1,363,500
11	芸術文化を活用し、関係人口創出を図る地域活性化事業	総事業費	2,310,000	2,309,983	2,249,000	1,250,000	1,250,000	9,368,983
		うち市町支出額	1,000,000	2,000,000	2,000,000	1,000,000	1,000,000	7,000,000
		うち県交付金	500,000	1,000,000	1,000,000	0	0	2,500,000
12	湯津上地区天狗王国まつり実施事業	総事業費	3,590,586	18,755,872	3,700,000	3,700,000	3,700,000	33,446,458
		うち市町支出額	3,150,000	16,000,000	3,450,000	3,450,000	3,450,000	29,500,000
		うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	0	3,000,000
13	那珂川レディース鮎釣り大会実施事業	総事業費		1,093,225	1,204,191	1,125,000	1,125,000	4,547,416
		うち市町支出額		800,000	800,000	800,000	800,000	3,200,000
		うち県交付金		400,000	400,000	400,000	0	1,200,000
市町計	総事業費	15,298,621	39,657,552	28,231,047	23,242,790	23,002,790	129,432,800	
	うち市町支出額	9,463,000	26,390,000	16,971,000	10,259,000	9,659,000	72,742,000	
	うち県交付金	4,156,500	6,195,000	7,385,500	2,529,500	454,500	20,721,000	

栃木県がまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	屋台まつり事業
事業主体の名称	大田原市屋台まつり実行委員会
代表者の名称	委員長 小倉正敏
事業主体の所在	大田原市山の手1丁目1番1号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:大田原市の祭事、記念行事等に屋台(山車)を出動し、市民の連帯感と郷土愛を育み、伝統文化の継承を図る。 ・設立年月日:平成3年2月21日 ・構成員等:大田原市内に屋台を有する町内の祭典委員長等 64名
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本市中心市街地は、江戸時代には宿場町として栄え、以降本市の中心地として発展してきたが、近年では人口や商業施設の減少など、中心市街地の空洞化が進んでいた。その対策として、平成20年に国の認定を受け、中心市街地活性化事業に取り組み、現在は事業により整備した複合商業施設を中心に賑わいを取り戻しつつあるが、人口減少に歯止めがかかっていない状況にある。</p> <p>そのような中、民間事業者による宅地分譲により、新たな居住者が増えている地域もあり、今後、地域コミュニティの強化を図るうえで住民間で交流を促進し、連帯感を醸成していく必要がある。連帯感を醸成し地域の後継者を育てるとともに、地域外からの新たな担い手の確保も課題となっている。</p>
事業目的	<p>祭りを通して、市民の連帯感と郷土愛を育み、市伝統文化の継承を図るとともに、市外に大田原をPRすることにより産業の振興及び文化の発展を図る。</p> <p>また、他市町及び県外の方々に囃子方として祭りに協力、連携していただくことで交流を促進するとともに、県外出身者が7割を占める国際医療福祉大学生にも祭りに参加してもらうことで、地域の人々や歴史文化についてより深く関わる機会を提供し、将来的には大田原市への移住定住へと繋げることを目的とする。</p>
事業概要	<p>【令和5年度】【I-d】</p> <p>①大田原屋台まつりの実施 期日 令和5年4月15日(土)、16日(日) 会場 金燈籠交差点 内容 中心市街地において、9町内の花鳥・唐獅子など精巧な技法で彫り込まれた華やかな屋台を引き回し、江戸時代から続く伝統行事の継承、祭りを通じて地域の連帯感を培う。他市町からも囃子方として祭りに参加してもらい、関係人口の創出・拡大を図る。また、国際医療福祉大学生に屋台の引き回しに参加してもらい当該事業の魅力を知ってもらうことで、卒業後、大田原市を離れることになっても、当該事業を通じて引き続き大田原市との関係を保ち、将来的な地域の担い手としての貢献や移住定住に期待する。</p> <p>②大田原屋台まつり写真コンクールの実施 内容 祭り期間中に撮影した屋台、屋台引き回し、ぶっつけ等の迫力ある写真を応募対象として写真コンクールを実施する。祭り当日から、祭りの写真コンクールへ事業展開することで、地域への継続的な関りを創出する。</p> <p>【KPI向上の取組】 江戸時代から続く大田原屋台まつりの伝統及び祭りの醍醐味である屋台同士のお囃子の競演「ぶっつけ」の迫力を市内外に広く情報発信するためのPRを強化する。</p> <p>【令和6年度】 令和5年度の成果を踏まえ、祭り来場者の増加及びおもてなしの向上を図り、更なる来場者の増加に取組んでいく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】「大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる」 (大田原市への移住・定着の推進とつながりの構築 関係人口の創出・拡大) 【KPI】ふるさと納税件数 19,500件(5年累計)【2022年累計(実績) 12,620件】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	大田原屋台まつり実施 写真コンクール開催	大田原屋台まつり実施 写真コンクール開催	大田原屋台まつり実施 写真コンクール開催		
事業費	5,404,550	7,160,000	7,240,000	19,804,550	7,240,000
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000	3,500,000	3,500,000	7,500,000	3,500,000
うち県交付金	250,000	1,375,000	1,375,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	4,904,550	3,660,000	3,740,000	12,304,550	3,740,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課政策推進係
担当者名	飯塚 悟志
電話	0287-23-8793
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakuisishin@city.ohatawara.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	屋台まつり事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
大田原市補助金	3,500,000	大田原市屋台出動事業費補助金
補助金	230,000	大田原商工会議所、大田原市観光協会、大田原商店連盟
負担金	630,000	出動負担金(9町×@70,000円)
協賛金	30,000	写真コンクール協賛金
事業収入	1,800,000	カレンダー販売(450,000円)、スポンサー(1,350,000円)
雑収入	205,564	預金利息、祝金等
繰越金	764,436	前年度より繰越
計	7,160,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	2,250,000	0	0	2,250,000	屋台出動謝礼
交際費	40,000	0	0	40,000	交際費
消耗品費	60,000	50,000	0	10,000	事務用品
印刷製本費	710,000	600,000	0	110,000	カレンダー印刷費
食糧費	650,000	0	0	650,000	慰労会費、会議時飲物等
通信運搬費	50,000	50,000	0	0	郵送料等
広告費	1,650,000	1,500,000	750,000	150,000	ネット広告費、スポンサー看板
委託料	1,336,400	1,300,000	625,000	36,400	会場設置費、写真コンクール開催業務委託、警備等委託
使用料及び賃借料	30,000	0	0	30,000	OA機器・システム使用料等
積立金	200,000	0	0	200,000	
予備費	183,600	0	0	183,600	
計	7,160,000	3,500,000	1,375,000	3,660,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

1 市町のみで事業を実施する場合

2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	地域資源を活かし、関係人口の創出をはかる金丸地域の活性化事業
事業主体の名称	金丸地区活性化協議会
代表者の名称	新江 章平
事業主体の所在	〒324-0041 栃木県大田原市本町1-3-3 総合文化会館2F(大田原ツーリズム内)
事業主体の概要	<p>・団体の目的:地域の住民、大学生、団体などを巻き込みながら、金丸地区内の自然や文化資源を活かしたイベントやボランティア活動を通して、観光地化し、交流人口を増やすとともに、地域活性化を図ることを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成26年4月1日</p> <p>・構成員等:金丸地区を中心とする住民や団体、学生等のボランティア</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	本協議会は、歴史や自然、文化的な地域資源があるにもかかわらず、地区の住民でさえそのことを知らない状況があったため、平成26年に国重要文化財である那須神社でジャズライブを開催するなどして、地域資源の価値を再認識してもらった活動を行ってきた。これにより、地域の価値を見いだす住民が徐々に増えてきているが、まだまだ地域資源の価値の認知度が低く、また、それぞれが連携して取り組む活動がない状況にある。今後、どのようにすれば住民同士が相互に協力し、連携しあうことができるか検討していくとともに、歴史文化の継承や地域資源の保全等、後継者の育成や新たな担い手の確保が課題となっている。
事業目的	地区の住民自身が、地域の歴史、自然、文化の価値に気づき、積極的にイベントやガイド養成等の多様な仕掛け、継続的に地域資源の情報発信に取り組むことにより、交流人口・関係人口の創出を図るとともに、地域づくりの担い手を発掘、育成することを目的とする。 これらについては、地域内にとどまらず、広く市外への事業周知、参加協力を求め、地域外からの地域の担い手の発掘を目指す。
事業概要	<p>【令和5年度】【I-d】</p> <p>①菊づくりに関する情報交換会・交流会の開催(6月開催予定)</p> <p>・近隣市町の菊愛好家と菊の栽培方法やイベントの相互出展について情報交換を行う。</p> <p>②菊栽培講習会の開催(7月開催予定)</p> <p>・講習会を開催し、菊栽培の魅力を感じてもらおう。情報交換会・交流会でのコミュニティを通じて、広く市外へ事業周知を行い、地域外からの地域づくりの担い手の発掘を目指す。</p> <p>③菊祭りイベントin那須神社2023の開催(11月開催予定)</p> <p>・大田原市の花「菊」への理解、金丸地域の歴史・文化への理解を深めてもらふブース出展の他、大田原グルメ祭りを開催し、地域の発展と活性化を図る。情報交換会・交流会でのコミュニティを通じて、市外団体へ出展依頼し、共にイベントを作り上げるだけでなく、今後も継続した関係性を構築する。</p> <p>④永代々神楽・太々神楽(令和6年3月開催予定)</p> <p>・地域に古くから伝わる「永代々神楽」「太々神楽」を那須神社で開催する。「子供神楽」「餅まき」を行うことで、幅広い年齢層へ歴史文化を継承する。</p> <p>【令和6年度】</p> <p>・前年度の事業の反省点を踏まえて、継続的に実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】「大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる」 (大田原市への移住・定着の推進とつながりの構築 関係人口の創出・拡大)</p> <p>【KPI】ふるさと納税件数 19,500件(5年累計)【2022年累計(実績) 12,600件】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①菊づくりに関する情報交換会・交流会の開催 ②菊栽培講習会の開催 ③菊祭りイベントin那須神社の開催	①菊づくりに関する情報交換会・交流会の開催 ②菊栽培講習会の開催 ③菊祭りイベントin那須神社の開催 ④永代々神楽・太々神楽	①菊づくりに関する情報交換会・交流会の開催 ②菊栽培講習会の開催 ③菊祭りイベントin那須神社の開催 ④永代々神楽・太々神楽		①菊づくりに関する情報交換会・交流会の開催 ②菊栽培講習会の開催 ③菊祭りイベントin那須神社の開催 ④永代々神楽・太々神楽
事業費	1,350,913	1,159,736	1,400,000	3,910,649	938,000
市町支出金(ソフト事業分)	843,000	859,000	1,000,000	2,702,000	0
うち県交付金	421,500	429,500	500,000	1,351,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	507,913	300,736	400,000	1,208,649	938,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課政策推進係
担当者名	飯塚 悟志
電話	0287-23-8793
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohatawara.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	大田原市
-----	------

※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。

単位事業名	地域資源を活かし、関係人口の創出をはかる金丸地域の活性化事業
-------	--------------------------------

対象年度	5	年度
------	---	----

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
大田原市補助金	1,000,000	大田原市わがまちつながり構築事業補助金
イベント販売売上	300,000	イベント売上
前年度繰越金	8,670	
雑収入	91,330	協賛金・利息
計	1,400,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	150,000			150,000	イベント講演会講師謝金
消耗品費	20,000	20,000	10,000	0	イベント講演会用消耗品
食糧費	15,000			15,000	講師弁当・お茶代
印刷製本費	400,000	400,000	200,000	0	イベントチラシ・ポスター印刷代
通信運搬費	10,000	10,000	5,000	0	通知郵送代
手数料	5,000	5,000	2,500	0	振込手数料
委託料	500,000	265,000	132,500	235,000	会場整備委託・会場警備委託
使用料及び賃借料	300,000	300,000	150,000	0	イベント機材・仮設トイレ・テントレンタル料
計	1,400,000	1,000,000	500,000	400,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	夢のある里づくり事業
事業主体の名称	大田原龍城せせらぎの舞実行委員会
代表者の名称	五月女 昌巳
事業主体の所在	〒324-0063 大田原市町島341
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 伝統文化・芸能の周知と伝承及び友好関係都市との交流 ・設立年月日: 平成27年6月28日 ・構成員等: 関係自治会長、土地改良区維持管理委員会、駐在所、地元企業、那須赤十字病院等
当該事業に係る地域の現状と課題	大田原小学校の学区は、蛇尾川で東西に分断されているという地理的条件から地域住民の交流が希薄になっている。地域に伝わる伝統芸能を通じて、地域住民の交流・連携を促進するとともに、伝統芸能の継承のため、当該地域のみならず、市内全域に活動を広げ、地域外からも積極的に担い手を確保することが必要となっている。
事業目的	伝統芸能と触れ合うイベントを開催することにより、地域住民が自分たちの住む地域の価値を見直し、さらなる地域住民の一体感を醸成する。また、地域外からも参加を募り、伝統芸能を体験してもらうことで、伝統芸能の継承、関係人口の創出を目指す。
事業概要	<p>【令和5年度】【I-d】 おたわら龍城「せせらぎの舞」の開催 開催日: 令和6年2月3日(土) 場所: 妙徳寺</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校生による和楽器と書道パフォーマンス、落語、狂言、二胡等 ・日本の伝統文化を通して地域の活性化を図る。狂言等の演目は見てもらうだけでなく、演目として予定している「節分」にちなんだ体験教室を実施することで、来場者にも一緒に事業を作り上げてもらい、今後も本事業を通じた関係人口の創出を図る。本事業については、広く市外へ周知することで、新たな人の流れの創出と関係人口拡大を目指す。なお、会場には「委員募集コーナー」を設置し、これまでの活動内容をモニターに投影し魅力を伝えることで、新たな担い手確保を目指す。 <p>【令和6年度】 ・前年度の事業の評価検討したうえで、伝統芸能の継承、関係人口の創出・拡大の向上を目指す。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる」 (大田原市への移住・定着の推進とつながりの構築 関係人口の創出・拡大) 【KPI】ふるさと納税件数 19,500件(5年累計)【2022年累計(実績) 12,600件】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	おたわら龍城「せせらぎの舞」の開催	おたわら龍城「せせらぎの舞」の開催	おたわら龍城「せせらぎの舞」の開催		おたわら龍城「せせらぎの舞」の開催
事業費	1,248,538	1,149,573	1,151,001	3,549,112	823,200
市町支出金 (ソフト事業分)	882,000	850,000	850,000	2,582,000	0
うち県交付金	441,000	425,000	425,000	1,291,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	366,538	299,573	301,001	967,112	823,200

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課政策推進係
担当者名	飯塚 悟志
電話	0287-23-8793
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohawara.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	夢のある里づくり事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
大田原市補助金	850,000	大田原市わがまちつながり構築事業補助金
協賛金	300,000	
繰越金	1,001	
計	1,151,001	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	800,000	529,000	264,500	271,000	出演者謝金
消耗品費	30,001	30,000	15,000	1	コロナ感染防止対策用消耗品・舞台関係消耗品
食糧費	30,000			30,000	出演者弁当等
印刷製本費	100,000	100,000	50,000	0	チラシ印刷代
手数料	1,000	1,000	500	0	振込手数料
保険料	10,000	10,000	5,000	0	賠償責任保険代
委託料	80,000	80,000	40,000	0	司会委託料・動画撮影委託料
使用料及び賃借料	100,000	100,000	50,000	0	音響・照明等レンタル料
計	1,151,001	850,000	425,000	301,001	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	地域の歴史的伝統の菊文化の復活と普及活動を通じた関係人口の創出による金丸・大田原の活性化事業
事業主体の名称	金丸菊の会
代表者の名称	戸村 聖一
事業主体の所在	〒324-0041 栃木県大田原市本町1-3-3 (株式会社大田原ツーリズム内)
事業主体の概要	<p>・団体の目的:金丸地区を中心とした地域で、歴史的に伝統文化である菊を地域の住民、学校、団体などと一緒に復活させ、イベント時の作品の提供や菊づくりの栽培指導のボランティア活動を通じて、伝統文化を継承していくことで、地域活性化を図ることを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成28年4月1日(平成28年度は部会。正式な単独の会としてはH29年4月から)</p> <p>・構成員等:金丸を中心とする住民や団体、学校等のボランティア</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	金丸地区には国指定重要文化財である那須神社があり、その神社と繋がりをもって伝統的に菊栽培と菊のお祭りが開催されてきた。しかし現在は菊栽培を行う農家も少なくなり、衰退してしまい、祭りでも地元の菊を見ることはなくなった。歴史的に物語があり、伝統もあるこの菊の復活を地域内でも望んでいる。今後、この伝統文化を継承するため、地域内外から地域づくりの担い手を確保することが課題となっている。
事業目的	衰退していた菊の栽培にもかかわらず、金丸地区活性化協議会によるお祭りの復活や地域活性の取組で、この菊部会が平成28年に立ちあがり、人数も20名を超える程に増え、一つの団体として活動しはじめた。今後の活動として、金丸地区だけにとどまらず広く大田原市全域への菊の普及を通して、伝統文化の継承と地域の活性化を行うことを目的とする。また、伝統文化の継承にあたっては、地域内外を問わず多くの担い手を確保する。
事業概要	<p>【令和5年度】【I-d】</p> <p>①菊づくりの人材育成と菊栽培(通年:勉強会や栽培指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> 菊づくりの勉強会や栽培指導を行う。開催通知を作成し積極的な広報活動を行い、対象を地域外まで広げることで、菊づくりを通じて、地域外からの地域づくりの担い手確保を目指す。 <p>②学校での菊栽培の指導を実施(6月から8月にかけて複数回実施予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中学校の生徒に対し菊栽培の指導・支援を行う。生徒の作品を積極的に展示し、菊の魅力を感じてもらうことで、伝統文化を継承することを目指す。 <p>③菊花展への出展</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催時期:11月開催予定 開催場所:那須神社 地域外(さくら市・那須塩原市)から展示を促し、菊花を通じて、地域への継続的な関りを構築する。また、栽培指導した小中学生の作品を展示する。 <p>【令和6年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 前年度の事業の反省点を踏まえて、継続的に実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】「大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる」 (大田原市への移住・定着の推進とつながりの構築 関係人口の創出・拡大)</p> <p>【KPI】ふるさと納税件数 19,500件(5年累計)【2022年累計(実績) 12,600件】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①菊づくりの人材育成と菊栽培(勉強会や栽培指導) ②学校での菊栽培の指導 ③菊花展への出展	①菊づくりの人材育成と菊栽培(勉強会や栽培指導) ②学校での菊栽培の指導 ③菊花展への出展	①菊づくりの人材育成と菊栽培(勉強会や栽培指導) ②学校での菊栽培の指導 ③菊花展への出展		①菊づくりの人材育成と菊栽培(勉強会や栽培指導) ②学校での菊栽培の指導 ③菊花展への出展
事業費	1,498,008	1,458,379	1,400,000	4,356,387	945,000
市町支出金(ソフト事業分)	797,000	868,000	1,000,000	2,665,000	0
うち県交付金	398,500	434,000	500,000	1,332,500	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	701,008	590,379	400,000	1,691,387	945,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課政策推進係
担当者名	飯塚 悟志
電話	0287-23-8793
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakuuishin@city.ohawara.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	大田原市
-----	------

※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。

単位事業名	地域の歴史的伝統の菊文化の復活と普及活動を通じた関係人口の創出による金丸・大田原の活性化事業
-------	--

対象年度	5	年度
------	---	----

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
大田原市補助金	1,000,000	大田原市わがまちつながり構築事業補助金
繰越金	0	
雑収入	400,000	菊栽培指導謝礼金
計	1,400,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	1,000,000	900,000	450,000	100,000	鉢、腐葉土、苗
印刷製本費	50,000	50,000	25,000	0	活動周知チラシ印刷代
委託料	280,000			280,000	花壇整備、コロナ対策業務 (ガイドライン作成・勉強会実施・会場の感染症対策)等
使用料及び賃借料	70,000	50,000	25,000	20,000	運搬車両レンタル
計	1,400,000	1,000,000	500,000	400,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	歴史的文化資産の活用による那須地域の活性化事業
事業主体の名称	那須国古代ロマンプロジェクト
代表者の名称	佐藤 憲一
事業主体の所在	〒324-0404 大田原市佐良土853(湯津上商工会内)
事業主体の概要	<p>・団体の目的:湯津上地区における歴史的資産である「那須国造碑」「侍塚古墳群」の調査研究と観光地として整備することで歴史的資産を後世に遺し、地域の活性化を図ることを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成30年4月7日</p> <p>・構成員等:商工・観光団体の代表者、地域関係者、学識経験者、プロジェクトが認める者</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	湯津上地区には国宝に指定されており日本三古碑の一つである「那須国造碑」や国史跡に指定され日本一美しい古墳と呼ばれている下侍塚古墳を中心とした「侍塚古墳群」などの歴史的資産を有するが、現状、地域人口の減少により、歴史的文化の継承や資産の保全に手が回らず、後継者の育成や新たな担い手の確保が課題となっている。
事業目的	歴史的資産を有効に活用することで新たな人の流れを創出し、地域の賑わいを取り戻すきっかけを作る。地域の歴史的資産をテーマにした講演会やウォーキングマップを作成し史跡等の周遊を促すことで、地域内住民に対しては、歴史的資産の魅力を再認識してもらい、また、歴史愛好家をはじめとした地域外からの来訪者に魅力を感じてもらおうことで、新たな担い手の確保に努める。
事業概要	<p>【令和5年度】【I-d】</p> <p>①プロジェクトPR冊子の作成 ・当該事業の内容、スケジュール及び団体の活動内容についてPRを行う。</p> <p>②事業PR活動(9月、11月、12月開催予定) ・なかがわ大感謝祭(9月開催予定)、天狗王国まつり(10月開催予定)、くろばね秋まつり(10月開催予定)、大田原市産業文化祭(11月開催予定)、広重商工まつり(12月開催予定)時にブース出展し、パンフレット配布及びパネル展示によるPR活動を行う。</p> <p>③湯津上地区史跡散策マップの作成(7月予定) ・湯津上地区の史跡の散策を促すマップを作成し、地域外に周知を上げ、新たな人の流れを創出する。</p> <p>④特別講演会の開催(11月開催予定) ・市外から講師を招き、地域住民以外に地域外の歴史愛好家に対し、歴史的資産を紹介することで、地域の魅力を感じてもらおうことを目指す。</p> <p>⑤笠石神社例大祭の後援「那須国造碑」の無料公開(令和5年3月開催予定) ・笠石神社例大祭時に後援として「那須国造碑」の無料公開を行う。</p> <p>⑥侍塚松守会への協力(松の菰巻き・菰外し)(10月、3月実施予定) ・史跡保全のため菰巻き、菰外しを行う。</p> <p>【令和6年度】 ・前年度の事業の反省を踏まえ、上記①～⑥を継続して実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】「大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる」 (地域資源を活用した観光振興 文化・芸術・スポーツを活用したまちづくりの推進)</p> <p>【KPI】文化芸術イベントの来場者数5,000人/年【2022年実績:3,758人/年】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①プロジェクトPR冊子の作成 ②事業PR活動 ③なす風土記の丘湯津上資料館周辺散策イベントの開催 ④笠石神社例大祭スタンプラリーの開催	①プロジェクトPR冊子の作成 ②事業PR活動 ③ウォーキングマップの作成 ④特別講演会の開催 ⑤笠石神社例大祭の後援「那須国造碑」の無料公開 ⑥侍塚松守会への協力(松の菰巻き・菰外し)	①プロジェクトPR冊子の作成 ②事業PR活動 ③ウォーキングマップの作成 ④特別講演会の開催 ⑤笠石神社例大祭の後援「那須国造碑」の無料公開 ⑥侍塚松守会への協力(松の菰巻き・菰外し)		①プロジェクトPR冊子の作成 ②事業PR活動 ③ウォーキングマップの作成 ④特別講演会の開催 ⑤笠石神社例大祭の後援「那須国造碑」の無料公開 ⑥侍塚松守会への協力(松の菰巻き・菰外し)
事業費	609,004	1,526,910	1,680,000	3,815,914	1,151,500
市町支出金(ソフト事業分)	346,000	962,000	1,000,000	2,308,000	0
うち県交付金	173,000	481,000	500,000	1,154,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	263,004	564,910	680,000	1,507,914	1,151,500

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課政策推進係
担当者名	飯塚 悟志
電話	0287-23-8793
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohawara.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	歴史的文化資産の活用による那須地域の活性化事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
大田原市補助金	1,000,000	大田原市わがまちつながり構築事業補助金
会費収入	400,000	会員会費
協賛金	80,000	賛同者からの寄付
負担金収入	50,000	研修参加者負担金
雑収入	1,172	利息、会員寄付等
繰越金	148,828	
計	1,680,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	70,000			70,000	講演会講師謝金
消耗品費	200,000	50,000	25,000	150,000	講演会、イベント用消耗品
印刷製本費	550,000	414,000	207,000	136,000	パンフレット・チラシ印刷代
通信運搬費	20,000	20,000	10,000	0	イベント案内ハガキ郵送料
広告費	500,000	266,000	133,000	234,000	新聞折込料
委託料	250,000	250,000	125,000	0	会場設営・音響設営・警備委託料
使用料及び賃借料	20,000			20,000	会場借上料
手数料	10,000			10,000	振込手数料
備品購入費	60,000			60,000	講演会用機器
計	1,680,000	1,000,000	500,000	680,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県がまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	おおたわら丘ポタ&激ポタ
事業主体の名称	大田原サイクリング協会
代表者の名称	会長 前田 幸雄
事業主体の所在	大田原市美原1-13-4(RaChePi内)
事業主体の概要	<p>・団体の目的:自転車を活用したイベント等の開催をすることで、県内外からサイクリストを大田原市に集めることで地域の観光を盛り上げるとともに、自転車が安全で走りやすい環境の構築、他地域への情報発信及び交流を通じた地域活性化を図る。</p> <p>・設立年月日:平成29年11月19日</p> <p>・構成員等:サイクリング愛好者等 16名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本市は地元のプロサイクリングチームが練習コースにしている御亭山をはじめ那珂川沿岸などサイクリストにとって魅力が多い資源があるにも関わらず、サイクリストが通過するだけの「まち」とされてきた。平成27年度の全日本自転車競技選手権大会の開催をきっかけに、県内のサイクルツーリズムへの取組みや市主催のサイクリングイベントの開催と相まって多くのサイクリストが訪れるようになり、サイクリストを受け入れる態勢も少しずつ整ってきたところである。しかし、市主催のサイクリングイベント「おおたわらエコポタ」や「Jプロツアー」事業が終了し、サイクリングイベントが少なくなりました。</p> <p>ポタリングイベントの開催を継続することで、リピーターとなるサイクリストの受け皿を作ること、また、大田原市に新たな人の流れをつくらせて交流を促進し、地域資源である大田原市の自然・人・食・文化を市内外に広く知ってもらい、地域の活性化及び関係人口の創出を図ることが重要である。</p>
事業目的	<p>ポタリングイベントを開催し、市内外に「自転車のまち」大田原のPRを行う。また、自転車で市内を周遊しながら地元のグルメを味わうことで、地域資源である「大田原の自然・人・文化」を知ってもらい、郷土愛を育むとともに、産業の振興及び各種スポーツ自転車イベントを通じスポーツに触れる機会を提供する。また、市外からも立哨ボランティアを募集し、コース管理やエイド運営に携わってもらい一緒にイベントを作り上げていくことで、関係人口の創出を目指す。</p>
事業概要	<p>【令和5年度】【I-d】 「おおたわら丘ポタ」の実施 期日 令和5年11月12日(日) 会場 大田原市役所湯津上支所 内容 県内外から参加者を募集し、大田原近隣の自然や文化、食材を堪能してもらうためのサイクリングイベントを開催する。 ①丘ポタファミリー30 初心者向けコース ・湯津上支所→威徳院→道の駅 那須与一の郷→巻川サイクリングロード→なががわ水遊園→湯津上支所29.6km 獲得標高229m ②丘ポタ40 ・①と同じ巻川サイクリングロード→ふれあいの丘→なががわ水遊園→湯津上支所38.7km 獲得標高399m ③丘ポタ・なががわ50 ・②のなががわ水遊園手前の篤橋→那珂川沿い遊歩道→若鮎大橋→馬頭温泉郷→なががわ水遊園→湯津上支所49.6km 獲得標高494m ④激ポタ60 上級者向けコース ・湯津上支所→威徳院→汽船道→なががわ水遊園→御亭山→雲巖寺→木佐美トンネル→ゴールデンウッド→芭蕉公園→片田交差点→湯津上支所59km 獲得標高1,086m</p> <p>・参加者の脚力に合わせた複数コースを設定することで、自転車初心者やファミリーでも参加しやすいポタリングイベントにするとともに、大田原市の地域資源である豊かな自然を体験できるコース設定とする。 ・エイドや運営に市外からのボランティアに参加してもらい、大田原市の「人」に触れて交流促進を図り関係人口を創出する。</p> <p>【令和6年度】 ・前年度の成果を踏まえ、参加するサイクリストの増加及びおもてなしの向上を図り、サイクリストに優しいまち大田原市のPRを行う。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】「大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる」 (地域資源を活用した観光振興 文化・芸術・スポーツを活用したまちづくりの推進) 【KPI】文化芸術イベントの来場者数5,000人/年【2022年実績:3,578人/年】</p>

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	おおたわら丘ポタ&激ポタの開催	おおたわら丘ポタ&激ポタの開催	おおたわら丘ポタ&激ポタの開催		おおたわら丘ポタ&激ポタの開催
事業費	2,653,501	2,794,000	3,700,000	9,147,501	2,590,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	0
うち県交付金	500,000	500,000	500,000	1,500,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,653,501	1,794,000	2,700,000	6,147,501	2,590,000

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課政策推進係
担当者名	飯塚 悟志
電話	0287-23-8793
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohatawara.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	大田原市
-----	------

※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。

単位事業名	おおたわら丘ポタ&激ポタ
-------	--------------

対象年度	5	年度
------	---	----

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
大田原市補助金	1,000,000	大田原市わがまちつながり構築事業補助金
参加費	2,400,000	50名×4,500円、50名×5,500円、100名×6,000円、100名×6,500円、100名×6,500円
協賛金	300,000	30件
計	3,700,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町	県交付金		
消耗品費	1,050,000	40,000	20,000	1,010,000	参加者記念品・感染症対策等衛生資材・エイド用資材・会場用資材
食糧費	975,000	0	0	975,000	エイド補給食・昼食
印刷製本費	180,000	20,000	10,000	160,000	大会ポスター、案内用チラシ・ハガキ、大会プログラム印刷代
通信運搬費	60,000	20,000	10,000	40,000	参加者募集通知DM・参加証通知・ゼッケン等送料
手数料	285,000	200,000	100,000	85,000	道路使用許可申請手数料・エントリー手数料・廃棄物処分手数料・振込手数料
保険料	95,000	30,000	15,000	65,000	参加者、スタッフ保険料
委託料	400,000	230,000	115,000	170,000	警備業務・コース監修・写真映像撮影業務
使用料及び賃借料	505,000	390,000	195,000	115,000	会場使用料・会場資材レンタル料・音響機材等レンタル料
備品購入費	150,000	70,000	35,000	80,000	コース管理用機材
計	3,700,000	1,000,000	500,000	2,700,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	地元再発見！生まれる絆☆人がつながるコーヒーMAP～大田原ファン＆サポーター大募集～事業
事業主体の名称	大田原OCP運営委員会
代表者の名称	佐々木 豊
事業主体の所在	那須塩原市野間472-28
事業主体の概要	・団体の目的:コーヒーの愛好家のためのイベント「OCP」(=Ohtawara Coffee Picnic)の準備、運営と参加者相互の親睦を深める活動からスタートした団体であるが、コーヒーに限らず様々なテーマのイベント等による大田原市を知ってもらい、好きになってもらうきっかけ作り、また地域の住民が関われる特産品づくり等を通じて地域の活力を高め、魅力ある大田原のまちづくりに資することを目的とする。 ・設立年月日:2018年1月15日 ・構成員等:役員3名、会員2名、ほか学生ボランティア等
当該事業に係る地域の現状と課題	那須地区は歴史的にも重要な地域であり、大田原市は歴史が住みやすさを証明していると言える地域であるが、アピールの下しさもあり、なかなか外にその魅力が伝わらない。そもそも地域の住民自体が本当にこの地域の魅力を理解しきれているかも疑問である。地域で育った子どもが都会に出て行くことによる損失も大きいものであるが、その背景には地域の魅力や文化に対する理解・興味の不足があると感じている。その問題の解決のために、コーヒーマップの作成や御朱印巡り、音楽や飲食店等のイベントを組み合わせることで、より多くの客層に地域の魅力を再発見してもらいながら、地域の活性化を目指す。
事業目的	コーヒーマップの作成や御朱印巡り、音楽や飲食店等のイベントを組み合わせることで、より多くの客層に地域の魅力と歴史的文化を継承する。特に、コロナ禍により疲弊した業種を盛り上げるイベントを開催することで、地域を下支えするとともにイベント開催をきっかけに新たな人の流れを創出する。事業にあたっては、地域内外からボランティアを募り、一緒に作り上げていくことで、今後も継続した地域の関りを創出する。
事業概要	【令和5年度】【I-d】 ①「大田原つながるコーヒーMAP」の改定 ・これまでの事業の中で作成したコーヒーMAPを音楽イベント情報や音楽イベント開催可能な店舗、キッチンカーの出店情報、文化や歴史の情報を追加しバージョンアップする。 ②食と音楽イベントの開催(11月開催予定) ・コロナ禍で疲弊している音楽業、飲食業を盛り上げるイベントを感染症対策を徹底した上で開催する。 ・アーティスト、キッチンカーは市内のみではなく、市外からも出演、出店してもらい、一緒に事業を作り上げていくことで、新たな人の流れを創出し、関係人口拡大を目指す。 【令和6年度】 ・前年度の実施結果を評価分析し、継続して実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標】「大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる」 (大田原市への移住・定着の推進とつながりの構築 関係人口の創出・拡大) 【KPI】ふるさと納税件数 19,500件(5年累計)【2022年累計(実績) 12,620件】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①コーヒーMAPの作成 ②歴史・文化周遊イベントの開催 ③歴史サロンの開催 ④護摩焚き	①コーヒーMAPの改定 ②食と音楽イベントの開催	①コーヒーMAPの改定 ②食と音楽イベントの開催		①コーヒーMAPの改定 ②イベントの開催
事業費	927,071	1,305,751	1,417,665	3,650,487	746,200
市町支出金 (ソフト事業分)	695,000	975,000	975,000	2,645,000	0
うち県交付金	347,500	487,500	487,500	1,322,500	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	232,071	330,751	442,665	1,005,487	746,200

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課政策推進係
担当者名	飯塚 悟志
電話	0287-23-8793
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohatawara.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	地元再発見！生まれる絆☆人がつながるコーヒーMAP～大田原ファン＆サポーター大募集～事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
大田原市補助金	975,000	大田原市わがまちつながり構築事業補助金
出店料	310,000	
売上金	129,000	
繰越金	3,665	
計	1,417,665	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	450,000	24,000	12,000	426,000	アーティスト報奨金
消耗品費	3,114	3,000	1,500	114	ゴミ袋・感染症対策消耗品
印刷製本費	510,000	500,000	250,000	10,000	デザイン料・MAP印刷代
広告費	78,551	78,000	39,000	551	新聞折込料
委託料	176,000	170,000	85,000	6,000	警備委託
使用賃借料	200,000	200,000	100,000	0	音響機器
計	1,417,665	975,000	487,500	442,665	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	那須野が原星空ネットワーク構築事業
事業主体の名称	大田原市星旅祭実行委員会
代表者の名称	八木沢 政和
事業主体の所在	大田原市山の手2-6-13
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 星空日本一に輝いたことのある大田原市から星空の魅力を伝えることを通して、自然環境豊かな住みよい街での市民交流を図る。 ・設立年月日: 平成28年4月25日 ・構成員等: 大田原市、那須塩原市、那須塩原市在住の有志
当該事業に係る地域の現状と課題	大田原市は、北に那須連山、東に八溝山が広がり、星空環境として恵まれた環境である。過去には環境庁主催の全国星空継続観察において日本一にもなったことのある場所で、都市部からの移住者、旅行者からは、街なかで天の川や星座が見えることの感動の音が聴ける星空環境である。一方で、LED化された街灯の増加ともない星空環境は年々悪化させている状況にあることや、市民の多くが星空の美しい街に住んでいるという意識が低いことが課題と考えられる。
事業目的	星空・宇宙をイメージするイベントの開催と周辺地域連携の星空観望会を開催することで、大田原市並びに那須野が原地域の星空の美しさのアピールするとともに市民交流の場を作る活動を行う。この活動を通して、那須野ヶ原地域の住民に、星空がよく見える地域に住んでいることの魅力を再発見してもらい、全国に発信できるようなシビックプライドの醸成を図っていくことを目的とする。
事業概要	<p>【令和5年度】【I-d】</p> <p>①星旅祭 2023の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日: 令和5年9月17日(日)18日(月) ・会場: 那須野が原ハーモニーホール ギャラリー ・参加資格: 年齢・対象制限なし ・参加費: 基本的には参加費は設けませんが、企画により個別に設定する場合あり ・内容: はやぶさ2実大模型展示、星空写真展をこどもの広場、中心市街地で開催し、子育て世代を中心に気楽に参加できる星空・宇宙のキーワードにした企画を提供する。 <p>②周辺地域(那須塩原市)との連携</p> <p>大田原市内ならびに隣接する那須塩原市の図書館・公民館等との連携で、街なか観望会を実施し、那須野が原地域としての星空および地域の魅力の再発見の場をつくる。また、その活動の中でふれあいの丘天文館のPRも進めていき、市外からの新たな人の流れの創出を目指す。</p> <p>③環境省主催の星空観察への参加</p> <p>現状の星空環境の現状と課題を考える活動として、夏・冬の星空観察に参加するとともに、周辺地域で行う星空観望会の中で星空環境の維持のための情報提供を行う。</p> <p>【令和6年度】</p> <p>令和5年度の成果をふまえて、星旅祭、街なか観望会の参加者のニーズをはかり、より広い世代へ参加者増加に取り組む。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】「大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる」 (大田原市への移住・定着の推進とつながりの構築 関係人口の創出・拡大)</p> <p>【KPI】ふるさと納税件数 19,500件(5年累計)【2022年累計(実績) 12,620件】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①星旅祭の開催 ②周辺地域(那須塩原市)との連携 ③環境省主催の星空観察への参加	①星旅祭の開催 ②周辺地域(那須塩原市)との連携 ③環境省主催の星空観察への参加	①星旅祭の開催 ②周辺地域(那須塩原市)との連携 ③環境省主催の星空観察への参加		①星旅祭の開催 ②周辺地域(那須塩原市)との連携 ③環境省主催の星空観察への参加
事業費	801,702	650,000	800,000	2,251,702	560,000
市町支出金 (ソフト事業分)	596,000	487,000	600,000	1,683,000	0
うち県交付金	298,000	243,500	300,000	841,500	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	205,702	163,000	200,000	568,702	560,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課政策推進係
担当者名	飯塚 悟志
電話	0287-23-8793
連絡先 FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohatawara.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	那須野が原星空ネットワーク構築事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
大田原市補助金	487,000	大田原市わがまちつながり構築事業補助金
参加費	88,000	ワークショップ参加費
会員準備金	67,675	
繰越金	7,325	
計	650,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	町		
報償費	25,700	0	0	25,700	講演会講師謝金
旅費	14,920	0	0	0	講師旅費
消耗品費	72,230	70,000	35,000	0	ワークショップ消耗品・感染症対策消耗品
食糧費	3,540	0	0	0	講師弁当代
印刷製本費	168,000	150,000	75,000	18,000	ポスター・チラシ制作印刷代
保険料	5,110	5,000	2,500	110	傷害保険料
委託料	280,500	182,000	91,000	98,500	はやぶさ2借用委託・音響運営委託
使用料及び賃借料	80,000	80,000	40,000	0	会場借上料
計	650,000	487,000	243,500	142,310	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	黒羽の歴史・文化・芸術を広く啓発し、多くの交流を作る城下町黒羽活性化事業
事業主体の名称	黒羽・那珂川 あゆめの会
代表者の名称	鈴木 玲子
事業主体の所在	〒324-0241 大田原市黒羽向町55 株式会社商美社内
事業主体の概要	<p>・団体の目的:江戸の城下町として栄えた黒羽は、芭蕉の里でもあり、那珂川の舟運は様々な富と文化をもたらしてくれ、今なおその佇まいが随所に残る。その財産を地域住民が再認識することにより、地域社会の活性化・地域おこしに寄与することを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成26年3月15日</p> <p>・構成員等:元氣な那珂川の鮎女(あゆめ)そしてしっかり歩めをモットーに、黒羽地区の女性で組織する。(会員11名)</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本会は、平成25年度の「大田原市街かど美術館」の会場となった「猪股邸」での美術展の評判を受けて、継続して古今の地元作家による芸術作品を多くの人々が鑑賞できる機会となる美術展を開催するために結成された。平成26年度から「城下町くろばね展」と題して開催した結果、地域の街並み・建物・作品の素晴らしさを再認識したとの声が多く聞かれ、一定の成果はあった。しかし、この地域に居住する若い世代が、いかにして地域資源を活用し、地域活性化に携わろうとする機運を高め、地域から転出する人を抑制できるか、また地域外から本会に賛同し新たな担い手として活動してくれる人材の確保が課題となっている。</p>
事業目的	<p>築100年という地域の伝統ある日本家屋において、地域住民が若い世代を巻き込んだイベントや講座等を開催することにより、若者をはじめとした地域内外の人を呼び込み、黒羽地域に残る歴史・文化・自然の良さを知ってもらうことにより、地域の魅力を再発見したり、地域に関心をもつきっかけをつくるとともに、住民等の相互交流を深め、地域に愛着をもってもらうことで、住み続けたいという思いを深めてもらうことを目的とする。また活動を地域外へ拡大し、地域外から本会に賛同し新たな担い手として活動してくれる人材の確保を目指す。</p>
事業概要	<p>【令和5年度】【I-d】 地域住民自身による地域資源の魅力発見・発信</p> <p>①城下町くろばね展の開催 開催期間:令和5年10月6日(金)から令和5年10月8日(日)まで 開催場所:那須与一伝承館 内容:地元芸術作家の作品や江戸時代の鳥獣図を展示し、黒羽の歴史、文化に触れる機会を創出する。広く市外へ周知することで、新たな人の流れの創出と関係人口拡大を目指す。</p> <p>②出張展示 開催期間:令和5年10月13日(金)から令和5年10月16日(日)まで 開催場所:ささや別邸(旧洪川家)※さくら市 内容:同じ城下町であり、歴史的に関係が深いさくら市を会場に、芸術作品や名産品、歴史・観光等パネルの出張展示を行う。多くの市外の方に黒羽・大田原市の魅力を感じてもらい新たな人の流れを創出する。</p> <p>③ワークショップの開催 開催期間:令和5年10月～11月予定 開催場所:未定 内容:古くからの伝統である竹工芸、七宝焼、藍染、古布手芸のワークショップを開催し、地域内外から参加者を募る。魅力を肌で感じてもらうことで、新たな担い手の確保を目指す。</p> <p>④大田原市芸術文化研究所との交流・連携 開催期間:令和5年10月～11月予定 開催場所:大田原市芸術文化研究所 内容:大田原市芸術文化研究所と連携し、作家工房の見学ツアーを開催する。開催にあたっては、国際医療福祉大学のボランティアサークルの学生に協力を依頼し、一緒に事業を作り上げてもらうことで、魅力の発信や今後の継続した関係性の構築を目指す。</p> <p>【令和5年度】 ・前年度の反省点を踏まえ、事業内容の改善を行う。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】「大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる」 (地域資源を活用した観光振興 文化・芸術・スポーツを活用したまちづくりの推進)</p> <p>【KPI】文化芸術イベントの来場者数5,000人/年【2022年実績:3,578人/年】</p>

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度の
事業内容	①城下町くろばね展の開催 ②出張展示 ③ワークショップ ④芸術文化研究所との交流・連携	①城下町くろばね展の開催 ②出張展示 ③ワークショップ ④芸術文化研究所との交流・連携	①城下町くろばね展の開催 ②出張展示 ③ワークショップ ④芸術文化研究所との交流・連携		①城下町くろばね展の開催 ②出張展示 ③ワークショップ ④芸術文化研究所との交流・連携
事業費	1,212,190	1,212,190	1,212,190	3,636,570	1,000,000
市町支出金(ソフト事業分)	909,000	909,000	909,000	2,727,000	0
うち県交付金	454,500	454,500	454,500	1,363,500	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	303,190	303,190	303,190	909,570	1,000,000

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課政策推進係
担当者名	飯塚 悟志
電話	0287-23-8793
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohatawara.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	大田原市
-----	------

※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。

単位事業名	黒羽の歴史・文化・芸術を広く啓発し、多くの交流を作る城下町黒羽活性化事業
-------	--------------------------------------

対象年度	5	年度
------	---	----

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
大田原市補助金	909,000	大田原市わがまちつながり構築事業補助金
会費	110,000	10,000円×11名
負担金	90,000	ワークショップ参加費 1,500円×4回×15名
繰越金	5,290	
雑収入	97,900	寄付金・販売手数料等
計	1,212,190	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	400,000	221,000	110,500	179,000	出展者・講師謝金
消耗品費	80,510	80,000	40,000	510	ワークショップ消耗品
食糧費	28,000	0	0	28,000	講師昼食代
印刷製本費	589,000	500,000	250,000	89,000	チラシ・ポスター・図録集印刷代
通信運搬費	8,400	8,000	4,000	400	案内状郵送代
広告費	21,000	20,000	10,000	1,000	新聞折込料
使用賃借料	52,280	50,000	25,000	2,280	会場使用料、机・椅子等レンタル
備品購入費	33,000	30,000	15,000	3,000	鳥瞰図用木製ケース
計	1,212,190	909,000	454,500	303,190	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	芸術文化を活用し、関係人口創出を図る地域活性化事業
事業主体の名称	那須野が原国際芸術シンポジウム実行委員会
代表者の名称	那須野が原国際芸術シンポジウム実行委員長 相馬 憲一
事業主体の所在	大田原市本町1-4-1
事業主体の概要	・団体の目的:芸術鑑賞の機会を提供するとともに、芸術の美しさ楽しさ、面白さに対する市民の関心を喚起し、ひいては地域文化の発展に寄与することを目的とする。 ・設立年月日:平成9年5月13日 ・構成員等:会長1名、副会長2名、委員6名、監事2名、オルガナイザー1名
当該事業に係る地域の現状と課題	両郷地区は少子化、若い世代の地域外への転出増加により急速に過疎化が進んでいる。中学校の統廃合により両郷地区内の廃校施設に大田原市芸術文化研究所を設置し、芸術活動を実施している。この活動を通して新しい人の流れを作り、地域の活性化につながっているため、引き続き地域外から人を呼び込み、地域住民は地域の価値、良さを認識し、地域を守り支える活動が展開されることが大切である。
事業目的	地域住民のほか、広く市外の住民へ芸術鑑賞の機会を提供し、芸術の美しさ、面白さに対する関心を喚起する。芸術文化の発信地としての存在を高め、市内外から人を呼び込み、両郷地区の活性化を図る。
事業概要	【令和5年度】【I-d】 ①公開制作の実施 期日:令和5(2023)年7月29日(土)~8月20日(日) ・国内外から新たに作家(彫刻家・画家)を招へいし、黒羽地内でシャッターアート、芸術文化研究所で木彫の公開制作を行う。空き店舗のシャッターを活用するとともに新たに芸術文化研究所へ人の流れをつくり、両郷地域の活性化につなげる。 ②展覧会の開催 期日:令和5(2023)年11月11日(土)~11月19日(日) 場所:大田原市芸術文化研究所 ・公開制作において制作された作品を展示する。また、制作過程や作品をホームページに掲載し、広く事業周知を行う。あわせて県内小中学校、高等学校への周知、県内外の大学等に通知し、芸術活動を通じて当該地域の知名度の向上と事業の周知を行う。 ③イベントの実施(ワークショップ) 期日:令和5(2023)年8月6日(日) ・①の招へい作家等が講師となり、芸術文化研究所においてワークショップを開催し、作家との交流の場を提供するとともに、地域への関心をもってもらい関係人口の創出に寄与する。 【令和6年度】 ・令和5年度の成果を踏まえ、上記①~③を実施する。新進気鋭の作家を招へいし、彫刻・絵画の芸術シンポジウムまたは彫刻・絵画に現代美術を加えたアーティスト・イン・レジデンスを開催する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標】「大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる」 (地域資源を活用した観光振興 文化・芸術・スポーツを活用したまちづくりの推進) 【KPI】文化芸術イベントの来場者数5,000人/年【2022年実績:3,578人/年】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①公開制作 ②展覧会 ③イベント	①公開制作 ②展覧会 ③イベント	①公開制作 ②展覧会 ③イベント		①公開制作 ②展覧会 ③イベント
事業費	2,261,000	2,309,983	2,249,000	6,819,983	1,250,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	2,000,000	2,000,000	5,000,000	1,250,000
うち県交付金	500,000	1,000,000	1,000,000	2,500,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,261,000	309,983	249,000	1,819,983	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課政策推進係
担当者名	飯塚 悟志
電話	0287-23-8793
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohatawara.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	芸術文化を活用し、関係人口創出を図る地域活性化事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額	備考
大田原市補助金	2,000,000	那須野が原国際芸術シンポジウム実行委員会運営費補助金
繰越金	248,776	前年度繰越金
雑収入	224	預金利子
計	2,249,000	

2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	300,000	300,000	150,000	0	作家への報償金
旅費	80,000	80,000	40,000	0	作家の旅費
消耗品費	449,000	350,000	175,000	99,000	制作用、滞在用消耗品
食糧費	300,000	200,000	100,000	100,000	招へい作家食事代・お茶代(一部調理して提供するため、食材代を含む)
印刷製本費	350,000	350,000	175,000	0	チラシ代、ポスター、作品集
通信運搬費	80,000	80,000	40,000	0	事業案内等通知郵送料
手数料	100,000	100,000	50,000	0	図録翻訳、振込手数料
保険料	40,000	40,000	20,000	0	損害保険料
委託料	100,000	100,000	50,000	0	HP更新委託料、製材委託料
使用料	250,000	250,000	125,000	0	システム使用料、重機使用料
原材料費	150,000	150,000	75,000	0	制作物材料費
予備費	50,000	0	0	50,000	
計	2,249,000	2,000,000	1,000,000	249,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	湯津上地区天狗王国まつり実施事業
事業主体の名称	湯津上地区天狗王国まつり実行委員会
代表者の名称	会長 越沼 哲士
事業主体の所在	大田原市佐良土853
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 歴史ある湯津上地区の祭りを積極的に実施し、市民相互のふれあいや郷土愛を育むことにより地域振興を図る。</p> <p>・設立年月日: 平成元年10月9日</p> <p>・構成員等: 湯津上商工会会長及び副会長、湯津上地区区長会長、湯津上地区自治公民館連絡協議会長、湯津上商工会女性部長、大田原市観光協会会長、大田原市消防団長 等 16名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	湯津上地域は大田原市の南部に位置し、国宝である那須国造碑や、国指定史跡であり日本一美しい古墳と呼ばれる下侍塚古墳など、歴史文化遺産を数多く有する地域であるが、対外的に知名度が不足しているという現状や、少子高齢化により人口と自営事業者が減少しており、地域住民間の繋がりが弱まりつつあるという課題がある。今後も歴史文化の継承及び地域活性化のため、地域人口の流出の抑制及び地域外からの担い手の確保も課題となっている。
事業目的	祭りの開催を通して、郷土愛を育むとともに地域住民間の交流を活性化させ、地域コミュニティーの維持、強化を図ることで、後継者を育てるとともに、市外事業者へ出店を依頼し一緒に祭りを作り上げ、新たな人の流れ、関りを創出する。事業周知については、ラジオCMや新聞広告を検討しており、地域外からの来場者数の増加を狙い、祭りの賑わいや歴史文化遺産等、地域の魅力を感じてもらうことで、担い手の獲得を目指す。
事業概要	<p>【令和5年度】【I-d】 天狗王国まつり秋まつりの開催 (1)日時: 10月開催予定 (2)会場: 栃木県なかがわ水遊園特設会場(大田原市湯津上地区) (3)事業内容 ①まるごとマルシェ大田原 ・市内及び市外事業者(那須塩原、那珂川町、宇都宮市、那須烏山市、下野市、益子町等)による物販 ②大田原コーヒービクニック ・市内に人気の焙煎所やカフェが多いことに着目し、「コーヒーのまち大田原」をPRすることによる新たなまちづくりに取り組んでいるが、その活動の一環として音楽を楽しみながら市内及び市外事業者が誇る珈琲の飲み比べができるイベントを開催する。 ③消防広場 ・地元消防団及び消防署による模擬消火訓練および火事場体験スペース設置する。 ④那珂川大感謝祭 ・日本屈指の清流である那珂川の魅力を広くPRするために、栃木県なかがわ水遊園内にギャラリー展示やプレミアムヤシオマズ試食会を開催する。 ⑤ちよこつとより道大田原、その他各種団体による観光PR活動 ・那須古代ロマンプロジェクトと連携した湯津上地域に眠る歴史文化遺産のPR ・大田原市観光協会や那須地域元気アップ協議会等による特産品PR及び市観光情報を提供する。 ⑥フリーマーケット 【令和6年度】 令和5年度の成果を踏まえ、新たな観光PR素材や他市町協力事業者を増やし、更なる来訪者の増加及び関係人口の創出に取組んでいく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】「大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる」 (大田原市への移住・定着の推進とつながりの構築、関係人口の創出・拡大) 【KPI】ふるさと納税件数 19,500件(5年累計)【2022年累計(実績) 12,600件】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<p>・天狗王国まつり春まつり実施 ①まるごとマルシェ大田原 ②大田原コーヒービクニック ③消防広場 ④那珂川大感謝祭 ⑤ちよこつとより道大田原、その他各種団体による観光PR活動</p>	<p>・天狗王国まつり～八溝YOSAKOIノランまつり～の開催 ①まるごとマルシェ大田原 ②大田原コーヒービクニック ③八溝YOSAKOIノランまつり ④花火大会 ⑤ちよこつとより道大田原、その他各種団体による観光PR活動 ⑥フリーマーケット</p>	<p>・天狗王国まつり秋まつり実施 ①まるごとマルシェ大田原 ②大田原コーヒービクニック ③消防広場 ④那珂川大感謝祭 ⑤ちよこつとより道大田原、その他各種団体による観光PR活動 ⑥フリーマーケット</p>		<p>・天狗王国まつり秋まつり実施 ①まるごとマルシェ大田原 ②大田原コーヒービクニック ③消防広場 ④那珂川大感謝祭 ⑤ちよこつとより道大田原、その他各種団体による観光PR活動 ⑥フリーマーケット</p>
事業費	3,590,586	18,755,872	3,700,000	26,046,458	3,700,000
市町支出金 (ソフト事業分)	3,150,000	16,000,000	3,450,000	22,600,000	3,450,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	2,913,329	2,755,872	250,000	3,446,458	250,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課政策推進係
担当者名	飯塚 悟志
電話	0287-23-8793
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohawara.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	湯津上地区天狗王国まつり実施事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
大田原市補助金	3,450,000	天狗王国まつり補助金
その他収益金等	200,000	大田原グルメ運営協力金
雑収入	35,047	お祝い金、預金利息
繰越金	14,953	
計	3,700,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	町		
報償費	150,000	150,000	0	0	謝礼、賞品諸費
消耗品費	405,000	368,000	0	37,000	事務用品、会場消耗品、コロナ対策
燃料費	10,000	10,000	0	0	
印刷製本費	160,000	160,000	0	0	ポスター、チラシ等
食糧費	195,000	0	0	195,000	弁当、飲み物代
通信運搬費	30,000	30,000	0	0	切手、宅配便代
保険料	27,000	27,000	0	0	傷害保険
広告費	300,000	300,000	0	0	新聞広告
手数料	5,000	5,000	0	0	振込手数料
委託料	1,400,000	1,400,000	700,000	0	会場設営
使用料	1,000,000	1,000,000	300,000	0	備品レンタル
予備費	18,000	0	0	18,000	
計	3,700,000	3,450,000	1,000,000	250,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県がまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	那珂川レディース鮎釣り大会実施事業
事業主体の名称	芭蕉の里くろばね那珂川レディース鮎釣り大会実行委員会
代表者の名称	会長 吉岡 博美
事業主体の所在	大田原市黒羽田町848番地
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的: 清流那珂川にて女性限定の鮎釣り大会を開催することで、新たな鮎釣り人口の増加と地域の活性化を図る。 設立年月日: 平成31年4月1日 構成員等: 大田原市観光協会会長及び副会長等、那珂川北部漁業協同組合長及び各支部長等、黒羽商工会会長、那須ダイワ機顧問 等 15名
当該事業に係る地域の現状と課題	本市を流れる清流那珂川は日本有数の鮎の漁獲量を誇るとともに、天然鮎のメッカとして多くの釣り人に愛されており、各種鮎釣りイベントを始め、ダイワやシマノといった大手釣り具メーカーによる全国大会も開催されている。また、那珂川沿岸には鮎を取り扱う様々な事業者も多く、本市の観光資源として多くの観光客を楽しませている。しかしながら、近年では若年層の釣り離れと高齢化により、鮎釣り人口が年々減少傾向となるなど、貴重な地域資源が衰退しかねない危機を迎えており、今後はいかにして鮎釣り人口の増加と地域振興を図っていくかが課題となっている。
事業目的	自然豊かな那珂川にて初心者も参加可能な女性限定の鮎釣り大会を開催することで、新たな鮎釣り人口の増加と河川愛護精神の高揚を目指すとともに、本市へのさらなる観光誘客の増大と地域経済の活性化に寄与することを目的とする。また、日本屈指の清流那珂川の魅力を広くPRするために、市外教育団体(馬頭高校)とも連携を深め、地域の人々や資源について改めて知る良い機会とすることで、将来的には大田原市への移住定住へと繋げることを目的とする。
事業概要	<p>【令和5年度】【I-d】</p> <p>①那珂川レディース鮎釣り大会の開催 期日 令和5年8月27日(日) 会場 那珂川河川公園(黒羽商工会裏) 参加資格 女性、中学性以上(市内外問わず) 参加費 入漁券がない方5,250円、入漁券持参の方4,000円 内 容 女性限定の鮎釣り大会 釣り道具を無料でレンタルでき、地元ベテラン釣り師がインストラクターとして指導してくれるので、初心者でも安心して参加できる大会とする。</p> <p>②地元事業者による出店 市外及び県外からの参加者も多いことから、本市の特産品PR及び地域の活性化に寄与するため、地元事業者(鮎関係)による販売等を実施。</p> <p>③市外教育団体(馬頭高校)との連携 全国唯一の内陸における水産専門学科を有する馬頭高校と連携し、新たに開発した商品をPRするとともに、研究成果等の発表の場としても活用することとする。</p> <p>【令和6年度】 令和5年度の成果を踏まえ、鮎釣り人口の増加及びおもてなしの向上を図り、更なる来場者の増加に取組んでいく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】「大田原市とのつながりを築き、新しい人の流れをつくる」 (大田原市への移住・定着の推進とつながりの構築 関係人口の創出・拡大) 【KPI】ふるさと納税件数 19,500件(5年累計)【2022年累計(実績)】12,600件</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	那珂川レディース鮎釣り大会実施	那珂川レディース鮎釣り大会実施	那珂川レディース鮎釣り大会実施		那珂川レディース鮎釣り大会実施
事業費	1,093,223	1,204,191	1,125,000	3,422,414	1,125,000
市町支出金 (ソフト事業分)	800,000	800,000	800,000	2,400,000	800,000
うち県交付金	400,000	400,000	400,000	1,200,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	293,223	404,191	325,000	1,022,414	325,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課政策推進係
担当者名	飯塚 悟志
電話	0287-23-8793
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohawara.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	大田原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	那珂川レディース鮎釣り大会実施事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
大田原市補助金	800,000	
参加費	240,000	参加者60名(@4,000円)
繰越金	164,191	
計	1,204,191	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	254,375	200,000	100,000	54,375	賞品代等
消耗品費	30,788	10,000	5,000	20,788	事務用品
食糧費	173,500	0	0	173,500	インストラクター昼食代
印刷製本費	165,000	150,000	75,000	15,000	チラシ・ポスター制作費
通信運搬費	9,156	9,000	4,500	156	郵送料(切手代)
保険料	13,872	0	0	13,872	イベント参加者保険代
委託料	463,000	400,000	200,000	63,000	インストラクター等業務委託、映像撮影委託
使用料及び賃借料	74,500	31,000	15,500	43,500	仮設トイレ、公民館借用
予備費	20,000	0	0	20,000	
計	1,204,191	800,000	400,000	404,191	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合